

横須賀市の児童生徒の読書実態調査集計結果について

1. 調査の目的

平成29年度に策定した第3次横須賀市子ども読書活動推進計画の進捗状況を把握するため実態調査を実施しました。

2. 調査の概要

(1) 調査内容

平均読書冊数や読書についての意識、学校図書館利用の調査

小学生用調査票(別紙1)・中学生用調査票(別紙2)を各学校あて送付

(2) 調査対象

市立小学校の4・5・6年生の各学年の抽出1クラス

市立中学校の各学年の抽出1クラス

(3) 実施期間

令和元年12月2日～20日

(4) 調査基準

令和元年11月の1カ月間

3. 調査集計結果と今後の対応

(1カ月の読書冊数の全国との比較)

区 分		今回調査値(元年度)			前回調査値(30年度)			基準値(28年度)		
		本	雑誌	マンガ	本	雑誌	マンガ	本	雑誌	マンガ
小学生	横須賀	8.4冊	1.1冊	7.9冊	7.1冊	1.1冊	6.7冊	7.5冊	1.5冊	8.5冊
	全国	11.3冊	3.0冊		9.8冊	2.5冊		11.4冊	3.7冊	
中学生	横須賀	2.3冊	1.0冊	8.0冊	2.7冊	1.2冊	7.8冊	3.9冊	1.7冊	9.8冊
	全国	4.7冊	2.3冊		4.3冊	1.7冊		4.2冊	1.7冊	

(1) 前年度と比較して、小学生の平均読書冊数は1.3冊増えたが、中学生の平均読書冊数は0.4冊減っている。月間5冊以上の読書冊数が小学生は前年度より4.3%増加し、中学生が1.1%減少したことが影響している。また、中学生の1カ月に1冊以上本を読む割合は、依然として目標値を下回っている。

(2) 小学生、中学生ともに「本を1冊も読まなかった理由」では「本を読む時間がない」が一番多い。「授業以外で学校図書館を利用しない理由」では「行く時間がないから」が一番多く、小学生、中学生の忙しさがうかがえる。また、中学生の「本を1冊も読まなかった理由」の「その他」として、ゲーム、YouTube

の方が楽しいという理由が多く見受けられた。

- (3) 中学生の平均読書冊数は減少しているものの、「本を読むのが好き」における「好き」、「どちらかといえば好き」の割合、及び「授業以外で学校図書館を利用する」における「よく利用する」、「ときどき利用する」の割合が前年度より増えていることから、学校図書館にかかる取り組みの効果が表れてきたものと考えられる。生徒の実情を踏まえたうえで、本が生徒にとって身近に感じられ、読書の機会を増やす取り組みの検討が必要である。

4. 結果の公表及び報告

- (1) 市ホームページ及び学校イントラネット上で公表します。
- (2) 調査実施学校に、当該学校分の集計結果を提供します。
- (3) 第3次横須賀市子ども読書活動推進計画の進捗管理を行う社会教育委員会議に、他の実施状況と併せて報告を行います。

【調査対象】調査対象			【調査対象】調査対象			【調査対象】調査対象			調査項目	調査結果
調査項目	調査結果	調査結果	調査項目	調査結果	調査結果	調査項目	調査結果	調査結果		
調査項目	調査結果	調査結果	調査項目	調査結果	調査結果	調査項目	調査結果	調査結果	調査項目	調査結果
調査項目	調査結果	調査結果	調査項目	調査結果	調査結果	調査項目	調査結果	調査結果	調査項目	調査結果
調査項目	調査結果	調査結果	調査項目	調査結果	調査結果	調査項目	調査結果	調査結果	調査項目	調査結果
調査項目	調査結果	調査結果	調査項目	調査結果	調査結果	調査項目	調査結果	調査結果	調査項目	調査結果